

情報都市宣言

電脳メガネ時代のまちづくりのキーワードは情報です。情報の集まるところに人も物も集まります。鯖江市は、2010年3月、全国に先駆け、“市民協働のまちづくり”を目指して制定した、市民主役条例において「市民と行政の情報共有」を明記し、ホームページ、Facebook、Twitter、USTREAMなどを使い、積極的に市民の皆さんとの情報共有を進めています。

更に、2012年、鯖江市はデータシティさばえとして、データの多面的利用を可能にする、XMLとオープンなライセンスによる情報公開、オープンデータの取組みを加え、より広く開かれた行政になる、オープンガバメント化を推進しています。

鯖江市は、ここ、IT推進フォーラムにおいて、市民の皆さんと情報を共有化する、“市民協働のまちづくり”を更に進めるため、個人情報の扱いなどの情報モラルに配慮し、積極的に情報を公開する情報都市を目指すことを、宣言します。